

目 次

はじめに	P1
§ 1. 不動産評価の国際化と我が国における問題点	P5
(1) IFRSs 適用の拡大と IVS 改正の動向	P5
(2) 我が国の不動産鑑定評価基準及び鑑定評価実務上の問題点	P12
§ 2. 我が国における「価格」の定義の現状	P17
(1) 企業会計上の「時価」	P17
(2) 投信法（証券化等）に係る価格	P26
(3) 各種倒産法制における価格	P29
(4) 税務上の「時価」	P31
(5) 用地行政における「価格」	P32
§ 3. 日本の法・会計制度目的に適合した鑑定評価をめざして	
～先行する国際的評価基準（IFRSs、IVS等）を参考に～	P36
(1) 問題点と方向性の再確認	P36
(2) 国際的評価基準の要点	P42
(2)－1 IFRSs の制度趣旨・目的と具体的開示基準	P42
(2)－2 IVS のスコープ・オブ・ワーク	P45
(2)－3 USPAP のスコープ・オブ・ワークと市場トレンド分析	P46
(2)－4 RICS の評価手法限定の例	P48
(3) 評価目的に適合した鑑定評価の記載案	P49
(4) まとめ	P51

別添 「時価シート」

- 1 不動産鑑定評価基準と国際的評価基準
- 2 企業会計
- 3 各種倒産法制
- 4 税務
- 5 用地行政